

スマートカンパニー

「カスタマーファースト」で、お客様とともに、その先のエンドユーザーのお役に立つスマートカンパニーを目指します。具体的には、先端機能材料と応用製品で「エネルギー」「安全・安心な社会インフラ」「健康な生活」「食料」の4つの価値創造領域で社会に貢献します。

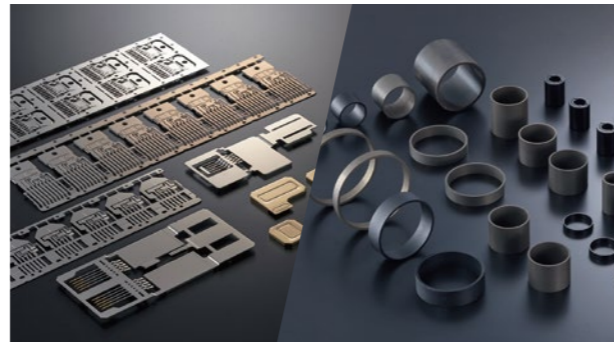


執行職
プレジデント
菅田 雅巳



事業の強み

- 材料、磁気応用、表面処理のベース技術を組み合わせたモノづくり力が生み出す先端機能材料
- 先端機能材料の性能を引き出す技術とオンリーワンの応用製品



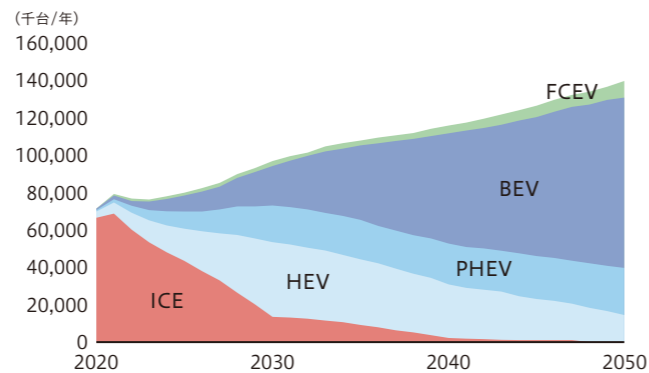
(左)リードフレーム製品群、(右)磁石

事業環境

自動車分野では「CASE」の進展により、電動車向け部品の需要は引き続き拡大が見込まれています。自動運転サービスにおいては、国内の人口減少に伴う労働力不足への対応として、構内物流市場への普及拡大が期待されています。

自動車以外にも、医療分野では先進国の高齢化によるデンタル市場の拡大や、農業分野における人口増加に対応する農作物の収量改善へのニーズが高まっています。

◆ 世界新車販売構成(乗用車)



出典: JAMA 2050年カーボンニュートラルシナリオ

機会とリスク

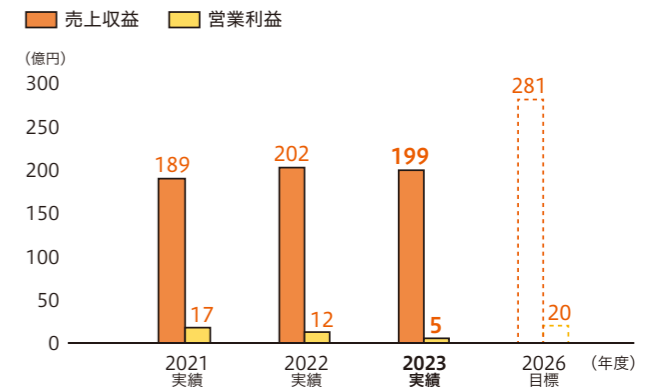
機会	リスク
<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品: 電動車の拡大によるパワーカード用リードフレームの需要増 ・磁石: モビリティ、エネルギー市場拡大に伴う希土類磁石の需要増 ・デンタル: 高齢化のさらなる進行により歯科用磁性アタッチメントの市場拡大 ・センサ・金属繊維: 自動運転分野、医療分野での微小磁気検知ニーズの拡大 ・鉄供給材: バイオスティミュラント※1市場の拡大、アルカリ土壌対策へのニーズ拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種原材料、希土類の価格上昇や調達制約

※1 植物を刺激して植物が元々有している力を引き出すことで、収量や品質を維持したり、収穫後の貯蔵性を高めるなどの効果がある農業資材

2023年度の実績

電動車の堅調な成長により売上収益は前年度と同水準となりましたが、自動車の短期的な生産動向の変化や原材料コストの変動による販売価格のスライドギャップなどが影響し、営業利益は前年度に比べ減益となりました。

◆ 売上収益/営業利益



中期経営計画に向けた取り組み

スマートカンパニーでは①カスタマーファーストでお客様のお役に立つ②全事業の安定収益確保③新たな事業・分野の開拓を重点に取り組んでいきます。

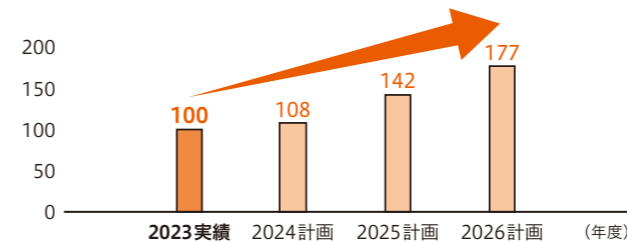
電子部品事業

市場拡大が見込まれる電動車向けパワーカード用リードフレームの需要への生産対応を着実に進めるとともに、競争力の源泉である品質を徹底的に磨き、収益基盤を強固なものにしていきます。また、顧客と密接に連携し市場ニーズを先取りした製品開発を行うことで、持続的成長と競争力の維持向上に取り組めます。



パワーカード用リードフレームの第4生産ライン

◆ パワーカード用リードフレーム売上数量



※ 2023年度の売上数量を100とした場合の指数

磁石事業

希土類の調達リスク回避のため、産出地のマルチソース化に加え、リスク原料(Tb、Dy、Co※2)を使わないネオジム系ボンド磁石の市場投入や、自動車の電動化進展で需要が

高まる高磁力ボンド磁石の省資源化により市場でのプレゼンスを高め、自動車・家電などの部品分野向け新規販売先を開拓することで、事業の収益基盤を構築します。

※2 テルビウム(Tb)、ジスプロシウム(Dy)、コバルト(Co)

デンタル事業

主力製品である歯科用磁性アタッチメント「マグフィット」は保険適用製品を活用した国内市場でのシェア拡大に向けて、販売パートナーとの協力体制を構築し、営業力を強化します。また、多様な術式に対応できる新製品の市場投入と海外展開も見据えたサプライチェーンの整備に取り組めます。

センサ・金属繊維事業

自動運転支援システム「GMPS」は注力領域として工場構内の自動搬送市場を開拓することで早期の収益化・利益化を実現します。はじめは有力顧客にターゲットを絞込み、戦略的に拡大を進めていきます。セキュリティ・医療などの分野において、超高感度・小型・省電力というMIセンサの強みを活かしお客様の困りごとを解決することで、幅広く市場開拓を進めます。

鉄供給材事業

国内においてはバイオスティミュラント材として競合製品との差別化を進めることで、競争力を強化し、販売拡大に取り組めます。今後の成長が期待できる海外市場においては、カンキツ類などの特定作物向けに代理店などの販売網整備、販売トライアルを進めます。また、将来の事業拡大に向けたPDMA※3の量産化技術にも注力していきます。

※3 愛知製鋼と徳島大学が共同開発した「プロリンデオキシムギネ酸」の略でアルカリ性土壌でも植物が鉄分を吸収しやすくする次世代鉄肥料